

平成27年度「確かな学力」実践研究事業

学級活動 公開授業・授業研究会

授業者 富岡市立富岡小学校 谷山 栄子 教諭
平成27年10月15日(木)
第4学年 「4の1なかよし発表会をしよう」



第4学年の「学級活動(1)」において、「話し合いボード」と「たし算作戦」を活用した学習を公開しました。



県内各地からたくさんの先生方に参加していただき、授業研究会では、提案した視点に沿って熱い議論が交わされました。

【題材】 4年 『4の1なかよし発表会をしよう』

【本時のねらい】

- ・「4の1なかよし発表会」の内容について考え、折り合いをつけながら話し合っ
て決めることができる。

【指導プラン p128~129】

【提案する手立て】

- ・(手立て①) 話し合いボードの活用
- ・(手立て②) たし算作戦の提示

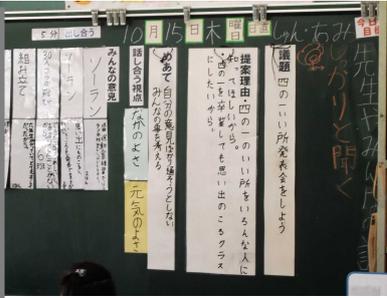
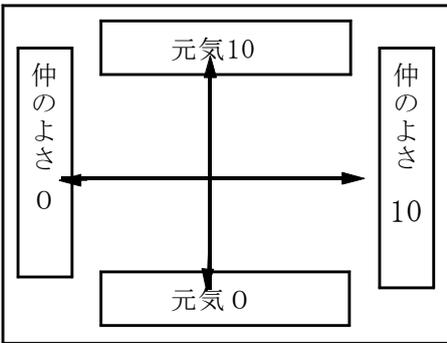
【実践の手引き p142~143】

□

・・・提案する手立てに関すること

□

・・・提案する手立て以外の工夫や支援など

学習活動	時間	主な指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 議題、提案理由、めあての確認をする。	5分	◎話し合いが議題やめあてに沿って、時間内に進むよう、計画委員と事前によく準備をする。 ◎相手の意見をよく聞くこと、自分たちが思う学級のよさが表れるような発表内容を考えていくことを確認する。
<p>[議題] 4の1なかよし発表会をしよう</p> <p>[提案理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4の1のいいところを、いろんな人に知ってほしいから。 ・4の1を卒業しても、思い出にのこるクラスにしたいから。 <p>[めあて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見ばかり通そうとしない。 ・みんなのことを考える。 		
2 話し合い (出し合い) ◎意見の出し合い。	5分	◎事前に出された意見とその理由が書かれた短冊を掲示しておき、比べ合う場面に時間を多く割く工夫をする。
<p>〈比べ合う(聞きあう、わかり合う)〉</p> <p>◎班ごとに話し合いボードを使って出た意見を再検討する。</p>		<p style="text-align: center;">手立て① 話し合いボードの活用</p> <p>【実践の手引き p 142~143】</p> <p>◎めあてに沿った話し合いの視点(条件)を書き入れた話し合いボードを作成しておき、話し合いの視点を明確にする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>S: 元気なところを 見てもらうには 運動会で踊ったソ ーラン節を踊るのが いいんじゃない</p> </div> <p>◎班別の話し合いで、必ず自分の意見が言えるよう、全員が発言する約束を確認する。</p> <p>◎班ごとの話し合いの中で、折衷案や合体案が出されれば、新たな案として提案してよいことを確認する。</p>

- 班ごとに一つずつ意見を発表し、黒板に貼っていく。
- 各班から出された意見について、全体で話し合う。

- 理由を比べ話し合えるように、短冊には意見とともに理由を簡単に書くようにする。



- 同じ意見の場合はその場で「同じです」と言うこととし、理由や内容の付け足しを行う。

- 意見をうまくまとめられないことも予想されるため、司会グループにヒントカードを用意し、話し合いが円滑に進むようにする。場合によっては教師が司会グループに助言する。



〈決める〉
 決定の方法を確認し、内容を決定する。
 楽しみだな。
 練習を早くしたい。
 いいものにしたい。
 次時や今後の活動について知る。

②たし算作戦の掲示

【実践の手引き p 142～143】

- 意見が分かれて折り合いが付かない場合、「たし算作戦」を参考にして互いのよさを生かした意見がないかをよびかけるよう計画委員に助言する。



- 学級全体の意見がどのように流れているかが分かるように、賛成意見にマグネットを貼っていく。
- ◎発言が苦手な児童も参加できるように、「○○という意見について賛成（反対）ですか」等簡単な言葉も用意し、計画委員に投げかけるよう事前に指導しておく。
- 強引に意見をまとめないよう、少数意見についても意見を聞くなど、全員に確認を取りながらまとめていくよう計画委員に助言する。



- 決定したことに★印をつける。
- 全班が同じ意見になった場合は決定し、他の内容（運営に必要な係など）について意見を投げかける。
- ◇友達の考えを大事にしながら、自分だけではなくみんなが良いと思う意見を発表している。

- 3 振り返り
- ・ 友達の意見が聞けた。
 - ・ 合体して新しい意見を考えられた。
 - ・ ○○くんの意見がいいと思った。
 - ・ 班での話し合いでは意見が言えたから、全体でも言えるようにしたい。

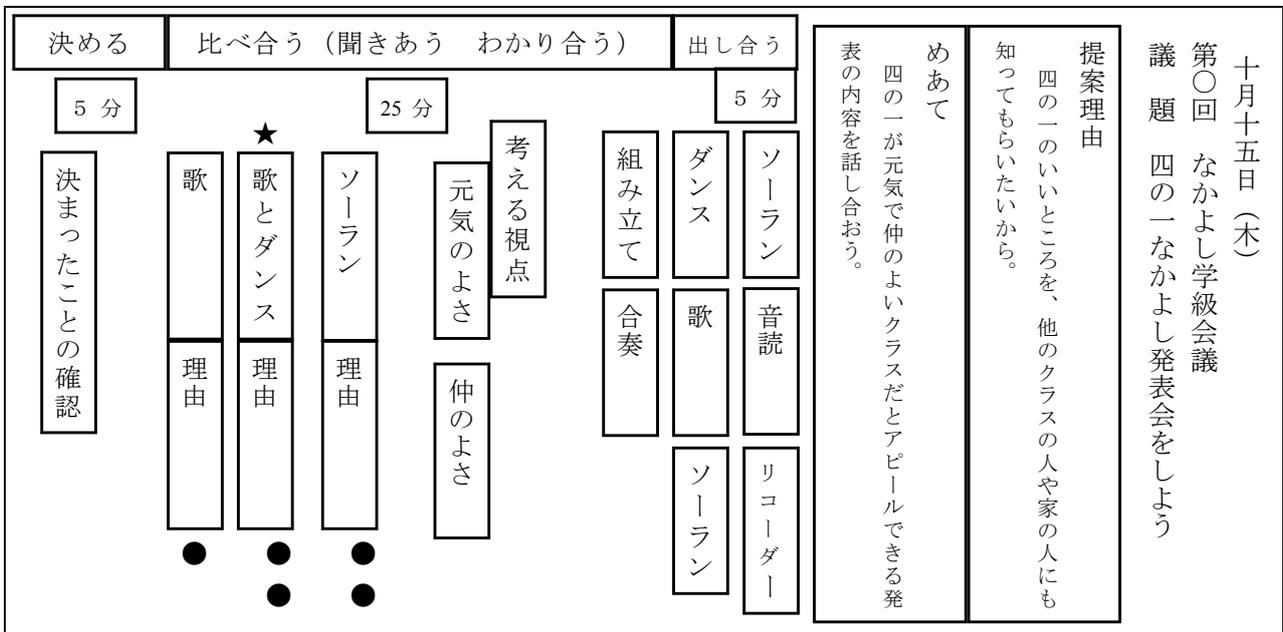
計画委員を中心に、とてもよい話し合いができました。



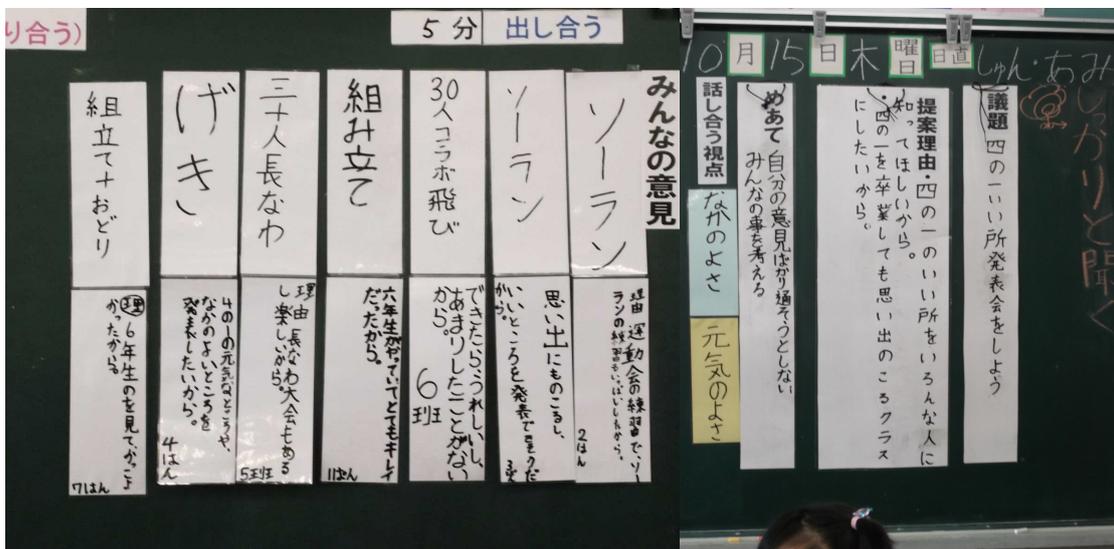
- 本時の話し合いについて、ワークシートに記入させる。
- 自分が意見を言えたかどうかだけではなく、どんなことを意識して話し合いに参加したか等を記入するよう助言する。
- 話し合いに対する取組について認め、意見が採用されなくても、「みんなが良い」と思えるもの考えたことを称賛し、発表会への意欲や役割分担等次回以降の活動への意欲をつなげる。



7 板書計画



〈実際の板書〉



授業検討会

【授業研究会での意見】

<よかった点>

- ・司会団が中心となって活動を行っていたので、他の児童も主体的に取り組んでいた。
- ・自分の意見にこだわらず、他の意見を取り入れてよりよい方法について考えていた。
- ・相手の考えをよく聞いていた。友達の考えを受けて自分の考えを言っていた。
- ・話型カードが効果的であった。
- ・意見を言いにくい子どもも気軽に言える雰囲気があった。
- ・話し合いボードに紙に置くことで、自然と言葉が出ていた。
- ・話し合いボードによって、視点が明確になっていた。そのことにより、話し合いがスムーズに行われていた。
- ・子どもたちが班でも個人でも考えていた。
- ・これまでの話し合い活動がしっかりできている様子が感じられる。
- ・話し合いのすすめ方がよかった。話し合いの積み重ねができている。
- ・学習のルールがしっかり身に付いていた。
- ・反対意見をもって子どもをしっかりと最後にフォローしていた。

<改善点>

- ・班の意見について考える時間があつたほうがよかった。
- ・子どもが活動について説明するときに、助言してあげてもよかった。
- ・「～さんは、どうですか」というような言葉がけをするとさらによくなると思う。
- ・「組み立ておどり」の意見を出したグループの考えがあまり触れられていなかった。先生が計画委員に促してもよかったのではないか。
- ・話し合いボードが有効であるので、全体の話し合いの中にも取り入れてはどうか。
- ・話し合いボードのまま発表させてもよかった。
- ・たし算作戦はテーマによって使い方を考える必要があるのではないか。
- ・たし算作戦は、何人かの児童は取り入れられたが、決定する場面でも更に活用する場があるとよかった。
- ・本時の観点「元気のよさ」「仲のよさ」は、みんなクリアしていたので、他にも観点があるとよかった。
- ・観点がずれてしまっている班もあった。

【参加者の声】

- ・カード形式の「話型カード」がよかった。いつでも手元に置いて、他の教科でも活用できる。
- ・授業の積み重ねの大切さ、話し合いを活発化、深化する手立てなど参考になった。授業で活用していきたい。
- ・板書により児童が可視化できていたので、ぜひ整理してまとめられるようにしていきたい。

【授業者の感想】

- ・視点の示し方、絞り方に課題がある。
- ・教師の介入の仕方について、今回は、できる限り介入しないようにした。
- ・提案理由に戻ることが大切。話し合うことが何かを明確にしていくことが大切。
- ・子どもたちは、友達・クラス・学年を意識できるようになってきた。